

所属選手たちが出場！ 全日本テニス選手権が開幕！



今季で引退する大前綾希子。最後の全日本になる



予選を突破して本戦出場を果たした吉村大生

10月5日（日）から12日（日）にわたり、東京・有明テニスの森公園テニスコートにて、「三菱電機ビルソリューションズ 全日本テニス選手権 100th Supported by 橋本総業ホールディングス」が開催される。シングルの男子優勝者には天皇杯、女子優勝者には秩父宮妃記念楯が授与される、国内で最も歴史と伝統がある大会。それも今年は100周年という記念大会だ。

多くの契約選手が出場予定で、女子シングルスでは岡村恭香、小堀桃子に上位進出が期待される。他にも予選を突破した瀬間詠里花、中国テニス選手権に優勝してワイルドカードを得た小林ほの香が出場する。女子ダブルスには、第1シードに小堀桃子、第2シードに森崎可南子、第3シードに大前綾希子が入る予定で、優勝を十分に狙えるポジションだ。大前は今季限りの引退を発表しており、「自分がラストだから優勝したいというのではなく、コートでファイトし、試合を楽しむことで、その先に結果がついてくると考えています。一つでも多く勝

ち上がって、30歳前に私を拾ってくださった橋本会長に恩返しができればと思っています」と語る。大前のラスト全日本は必見だ。

ダブルスで予選を突破し、単複で本戦出場となった小林ほの香は、「大会スポンサーをしてくださっているので、少しでも良い成績を収めたいです」。ダブルスで本戦入りを果たした北原結乃は、「今後の海外遠征にも繋げていけるよう、現在取り組んでいることを大切に、頑張っていきたいです」と意欲を見せる。

男子では吉村大生が、シングルス予選を勝ち抜き本戦の切符を手に入れた。「かなり気合いが入っています。プレーする姿を有明で皆さんに見せられることをうれしく思います」。ぜひ会場で奮闘する選手たちを応援しよう。

大会日程(S:シングルス、D:ダブルス、QF:準々決勝、SF:準決勝、F:決勝)

	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/8(水)	10/9(木)	10/10(金)	10/11(土)	10/12(日)
開始時間	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	11:00
男子S		1R	1R	2R	2R	QF	SF	F
女子S	1R	1R	2R	2R	QF	SF	F	
男子D			1R	1R	2R	2R	SF	F
女子D			1R	1R	2R	2R	SF	F

会場：有明コロシアム及び有明テニスの森

テニス
TENNIS

柴原瑛菜がBJK杯ファイナルに出場

女子国別対抗戦「ビリー・ジーン・キング・カップ (BJK 杯) by Gainbridge ファイナル」が9月16日(火)～21日(日)にわたり、中国・深センで開催され、柴原瑛菜が日本代表としてプレーした。日本は準々決勝でイギリスと対戦。柴原はシングルス2で登場し、ソナイ・カータルに3-6、6-7(4)で敗退した。シン

グルス1も敗れて日本は、ベスト8で大会を終えた。

柴原は、「日本代表としてチームのみんなと一緒に戦えたことを本当に誇りに思います！ 結果は悔しかったですが、この経験から得た学びは必ず次への大きな力になります。たくさんの応援、本当にありがとうございました」と前向きだ。

大前 綾希子

Akiko Omae

森崎 可南子

Kanako Morisaki

ITF W35
DOUBLES
準優勝

ITF W35

ルーマニア・ブラショフ
8月25日～8月31日
ダブルス準優勝



森崎 可南子

Kanako Morisaki

ITF W50
DOUBLES
優勝

ITF W50

ルーマニア・スロボジア
9月1日～9月7日
ダブルス優勝



小関 みちか

Michika Ozeki



ITF W15
DOUBLES
準優勝

ITF W15

中国・六安
8月25日～8月31日
ダブルス準優勝



ITF W15
DOUBLES
優勝

ITF W15

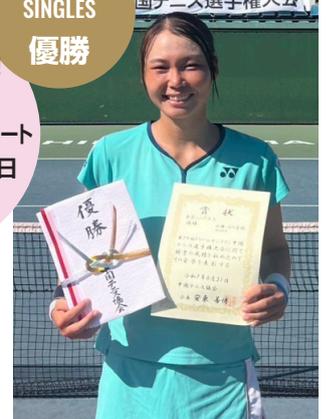
中国・六安
9月1日～9月7日
ダブルス優勝

全日本本戦WC獲得!
広島県
びんご運動公園テニスコート
8月30日～9月4日
シングルス優勝

小林 ほの香

Honoka Kobayashi

中国テニス選手権
SINGLES
優勝



瀬間 詠里花

Erika Sema



ITF W35
DOUBLES
準優勝

ITF W35

タイ・ナコーンパトム
9月1日～9月7日
ダブルス準優勝



ITF W35
DOUBLES
準優勝

ITF W35

オーストラリア・ワガワガ
9月15日～9月21日
ダブルス準優勝

小堀 桃子

Momoko Kobori



WTA 125
DOUBLES
準優勝

WTA 125

中国・湖州
9月8日～9月14日
ダブルス準優勝

Q

&

A

素朴な疑問を聞いてみよう!

QUESTION

質問

試合の後は
どんなことをしている?

ANSWER

答え
2温泉があれば水風呂と
お風呂を交互に入る

疲労回復の一環としてバスタブがある時はお湯を張って入ります。昔は20分以上つかっていましたが、長風呂も良くないと聞いたので、10分ぐらいに変えました。暑い所での試合の後はアイシングをしますし、温泉があるところだと、水風呂とお風呂を交互に入って血行が良くなるようにします。そうすると回復が早くなるので。海外では無理なので、アイシングの後にお風呂に入るようにしています。



激しく動いた試合の後は、疲労を回復させることが大切

ANSWER

答え
3プロテインも
疲労回復の目的で飲む

試合後にはプロテインを飲みます。僕はアミノバイタルのようなものが多いですね。筋力アップよりも疲労回復の目的で飲むことが多いです。ほとんどの選手が飲んでいるのではないのでしょうか。やはり試合で使ったエネルギーを回復させる意味で、効果があると感じています。

PROFILE

教えてくれたのは…

河内 一真 プロ

Kazuma Kawachi



1994年10月11日生まれ。大阪府出身。

2013年にプロ転向。2019全日本選手権ダブルスベスト8。ダブルスではITFツアー7大会に優勝。内3大会は今年優勝している。ATPダブルスランキング自己最高449位(2025年5月19日付)



20代前半と比べて
疲労回復が遅くなる

橋本総業

ANSWER

答え
1腰が痛くならないように
下半身のストレッチをする

30歳になると20代前半と比べて疲労回復が遅くなるので、試合後のケアは念入りに行っています。下半身の柔軟性のストレッチは40分から1時間ぐらいかけています。僕は腰があまりよくないので、お尻が張ったりすると腰につながっている筋肉が痛くなってしまいます。そのため下半身のストレッチをしっかりと、腰に影響がでないようにしています。

ピックルボール
PICKLEBALL

福永雛乃が国内外の大会で活躍!



地元鹿児島で初ピックルボール!

鹿児島へ帰郷し、急遽訪れたクラブでピックルボールを楽しむジュニアたちの姿と情熱に触れ、自身の初心を強く思い出しました。多くの方の熱い応援を力に変え、地元・鹿児島を元気にし、恩に報いる道だと確信しました。



PPA TOUR AUSTRALIA GOLD COAST 6/5-6/8

Pro シングルス 21 位、ダブルス 14 位、混合ダブルス予選敗退
19+ ダブルス 4.0 and above Champion
19+ シングルス 4.0 and above BEST4
19+ 混合ダブルス 4.0 and above BEST4

世界最高峰の PPA ツアーの一環として、オーストラリアで最もレベルの高いプロの試合に出場。19+ カテゴリー(プロに近いセミプロ選手が多く出場)で、格上相手にも失敗を恐れずチャレンジし、優勝という最高のスタートを切ることができました。次なる目標は、プロカテゴリーでの表彰台です!



PJF PICKLEBALL JAPAN OPEN 佐世保 IN 長崎 6/20-22

Pro ダブルス Bronze
Pro 混合ダブルス Champion
19+ ダブルス Champion
19+ 混合ダブルス Champion

大会前日にはクリニックを開催し、九州のピックルボーラーのレベルアップと普及活動に貢献しました。地元企業・メディアやファミリーなど約 40 名が参加し、老若男女、経験値に関わらず誰もが笑顔になれるピックルボールの魅力を再認識しました。

JPA SKECHERS JAPAN TOP TOUR 2025 T4 HAMANAKO 6/28-6/29

Pro ダブルス Champion
Pro 混合ダブルス Runner-up

日本トッププレイヤーが集結したこの大会では、嬉し涙あり、

悔し涙ありの思い出深い経験となりました。勝利の鍵はパートナーとの緻密な連携にあることを理解することができました。

日本初のドラフト制・チームリーグ戦が開催され、企業、学生、初中上級、プロが競う団体戦となりました。海外トップ選手も集結したプロカテゴリーは非常にハイレベルで、多くの貴重な経験と学びを得ました。次は企業カテゴリで TEAM HAT も参戦するかもしれません。

第1回 PJF PICKLEBALL JAPAN LEAGUE BURGER KING® CUP 8/11-8/14



KINTO JAPAN CUP 2025 7/4-7/6

Pro シングルス Champion
Pro 混合ダブルス Champion

国内大会シングルスで初優勝を飾ることができました!

PPA ASIA SANSAN FUKUOKA OPEN 2025 8/26-8/31

Pro シングルス 予選敗退、ダブルス BEST16、混合ダブルス 予選敗退
19+ 混合ダブルス 3.5 and above Bronze
19+ ダブルス Prize Match Runner-up
19+ 混合ダブルス Prize Match Runner-up

世界レベルのプロの戦いを体験し、ショットの質と予測不能な多様性がすべてであることを痛感しました。国内の常識が通用しないと知ったことが最大の収穫であり、次に向けてこの差を少しでも多く埋めることに全力を尽くします。



PB.LEAGUE FUKUOKA OPEN 2025 8/30

ピックルボールを「観るスポーツ」へというコンセプトのもと、【競技×エンタメ】の企業対抗新リーグが開催されました。TBS W Dragons、PKSHA Geckos、Sansan PASSIONS、三井不動産 COLORFUL WORKS の 4 社が男女混成チームを結成し、総当たりで激突。ドラフト制が採用され、各チーム監督が戦略的に選手を指名しました。私が所

属する Sansan PASSIONS は見事優勝を果たしました。チームへの貢献は最高の喜びです!



ゴルフ
GOLF

2次プロテストに挑戦した5名が惜しくも通過ならず



2025 年度ゴルフプロテストの 2 次テストが 9 月に 3 会場で実施され、契約・サポート選手の 5 名(小島彩夏、沓澤莉子、宮城杏、宮城柚、前里奈々)が挑んだが、通過はならなかった。小島は、「課題のパ

ターで足を引っ張ってしまいました。日本のメジャー大会、日本女子オープンに出場できるチャンスを掴み取ったので、そこで結果を残しこれからのプレーに生かしていきます!」と前向きに語った。

寺岡沙耶香が活躍!

「ソニー 日本女子プロゴルフ選手権」(9 月 11 日~14 日/茨城県・大洗ゴルフ倶楽部)で寺岡沙耶香が 10 位タイと結果を出した。また、「NEC 軽井沢 72」(8 月 15 日~17 日/長野県・軽井沢 72 ゴルフ北コース)での最終日 18H のプレーが、JLPGA の 8 月の PLAY OF THE MONTH にノミネートされるなど、好調な様子だ。